

公益財団法人 檜の芽会 御中

令和 7 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】		①作成日	令和 8 年 5 月 2 5 日
②法人・団体名	かわさき芽吹塾		
③団体所在地 (都道府県・市町村名まで)	神奈川県川崎市		
④責任者氏名	吉沢 春陽	(役職名等)	代表
⑤担当者氏名	倉田 泰樹	(役職名等)	会計

【奨学活動の概要】					
⑥助成交付決定番号	R07-025	⑦助成金額	50 万円	⑧申請カテゴリー	B
⑨奨学活動名	中学生と高校生に学習支援と居場所の提供				
⑩主な実施場所名・ 及びその住所	てくのかわさき：神奈川県川崎市高津区溝口 1 丁目 6 - 1 0 高津市民館：神奈川県川崎市高津区溝口 1 丁目 4 - 1				

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

経済的な事情等により有料塾の利用が難しい中学生・高校生を対象に、学習支援および体験活動を実施した。

学習支援では、年間を通じて約 30 名の生徒に対し、大学生ボランティア講師約 40 名が個別指導を行い、受験生には 5 教科すべてについて継続的な支援を実施した。その結果、高校受験・大学受験ともに受験生全員が志望校に合格した。

また、夏休み期間には生徒 18 名、講師 12 名が参加する勉強合宿およびサマーキャンプを実施し、学習習慣の定着や多様な体験機会の提供、生徒同士の交流促進につなげた。

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3 - 2 等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A : 人)	平均時間 (B : 時間)	活動量 (A x B)	備考・補足・計算根拠等
中学生等	720 人	6 時間/回	4,320	[人数]平均 10 人/回×2 回/週×4 週/月×9 ヶ月 [時間]準備：1 回 2 時間 授業：1 回 4 時間
高校生等	1080 人	6 時間/回	6,480	[人数]平均 15 人/回×2 回/週×4 週/月×9 ヶ月 [時間]準備：1 回 2 時間 授業：1 回 4 時間
大学生等				
学習支援員等	540	3 時間/回	1,620	[人数]平均 15 人/回×1/週×4 週/月×9 ヶ月 [時間]授業：1 回 3 時間
その他				
合 計			12.420	

⑬その他の定量的な数値（任意）

令和 7 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：中学生と高校生に学習支援と居場所の提供

法人・団体名：かわさき芽吹塾

作成者 氏名：倉田泰樹

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

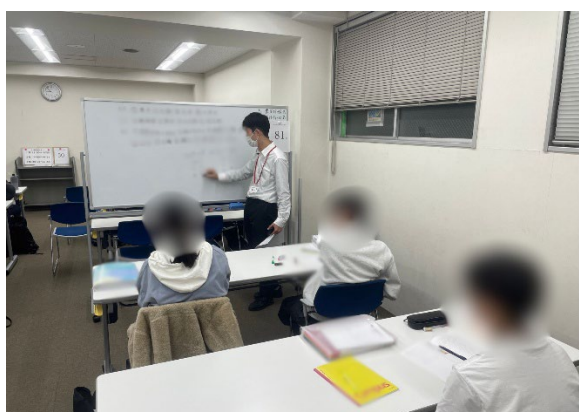
本活動では、「貧困問題・教育格差・子どもの孤立」の 3 つの社会課題の解決を目的として取り組んだ。経済的な理由により有料塾等の利用が難しい中学生・高校生に対して無料で学習支援を行うことで、学習機会の確保と学力向上を図った。また、進路相談や日常的な声掛けを通じて、生徒一人ひとりの状況に応じた支援を実施した。さらに、夏合宿やサマーキャンプをはじめとする体験活動を実施し、学校外での多様な経験や交流の機会を提供した。加えて、寄付によって集まった教材や文房具、衣類等を必要とする家庭へ提供し、経済的負担の軽減にも取り組んだ。

2. 実施した奨学活動の詳細

(1) 学習支援

主に、平日 1 日および土曜日に学習支援を実施した。長期休暇期間や定期テスト前、受験期にも開講し、生徒が継続して学習に取り組める環境を整えた。年間を通じて中学生・高校生約 30 名を支援した。授業は生徒ごとの学力や目標に応じて個別に進度を設定し、英語・数学を中心に国語・理科・社会を含めた指導を行った。特に受験生に対しては、土曜日に加えて平日・日曜日にも授業を実施し、5 教科すべてについて継続的かつきめ細かな支援を行った。各生徒に担当講師が付き、模擬試験や塾内演習の結果、学校の成績などを分析したうえで学習計画を作成し、理解度や進捗状況に応じて学習内容の見直しを行った。また、進路選択においては、模擬試験や演習結果だけでなく、本人の希望や将来の目標、ご家庭の意向も踏まえながら継続的に面談や相談を行い、一人ひとりに適した進路決定を支援した。また、生徒ごとに担当講師を配置し、学習計画や授業内容の管理を行うことで、一人ひとりに応じた継続的な支援を実施した。大学生講師が中心となり、生徒との年齢の近さを活かした支援を行ったことで、学習面だけでなく学校生活や進路に関する相談もしやすい環境づくりにつながった。学習支援員は主に大学生ボランティアが担い、年間を通じて約 40 名の講師が活動に参加した。授業は指定教材を使用し、指導方法をマニュアル化することで、講師ごとの差が生じにくい体制を整えている。これらの結果、本年度も高校受験・大学受験ともに受験生全員が志望校に合格することができた。

[受験対策]



[通常授業]



(2) 夏合宿・サマーキャンプ

[夏合宿]

夏休み期間に2泊3日の勉強合宿を実施した。参加者は生徒18名、講師12名であった。日中は長時間の学習時間を確保し、普段より集中して学習に取り組む機会とした。講師による学習サポートや質問対応を行い、生徒が苦手分野の克服や学習習慣の定着に取り組めるよう支援した。また、学習だけでなくレクリエーションも実施し、生徒同士や講師との交流を深める機会となった。



[サマーキャンプ]

夏休み期間には1泊2日のサマーキャンプも実施した。参加者は生徒18名、講師12名であった。大型レクリエーション、BBQ、たこ焼き・お好み焼き作り、花火などの体験活動を行い、家庭環境や経済状況に関わらず様々な経験ができる機会を提供した。異学年の生徒や大学生講師と協力しながら活動することで、コミュニケーション能力や協調性を育む機会となった。また、普段の学習支援だけでは得られない交流を通じて、生徒同士の関係づくりや居場所づくりにもつながった。



3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

継続的な学習支援や夏合宿・サマーキャンプを通じて、生徒の学習意欲の向上や学習習慣の定着、多世代交流による居場所づくりを進めることができた。また、異学年や大学生講師との関わりを通じて、生徒同士の関係づくりや孤立感の軽減にもつながった。

一方で、イベント運営においては、BBQ やレクリエーション等の時間配分が十分ではなく、一部の企画で慌ただしい進行となる場面があった。また、講師間の役割分担や事前の情報共有が不十分であったため、当日の運営において円滑に対応できない場面も見られた。今後は、企画段階でより余裕を持ったスケジュールを設定するとともに、役割分担や運営手順の共有を徹底し、より円滑な運営体制を構築していきたい。

また、学習支援・居場所支援・物品支援を継続しながら、支援を必要とする子どもたちに対して長期的かつ継続的な支援を提供していきたい。

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

活動を通じて、家庭環境や経済的な事情などにより学習機会が限られていた生徒が継続的な学習に取り組めるようになり、受験に向けて主体的に努力する姿が多く見られた。

また、夏合宿では長時間学習に挑戦する経験を通じて集中力や継続力を養うことができた。さらに、サマーキャンプでは BBQ や調理体験、花火など、家庭環境や経済状況に関わらず様々な体験活動に参加する機会を提供することができた。

学習支援だけでなく、多様な体験や人との関わりを通じて子どもたちの成長を支えることの重要性を改めて実感した。今後も学習支援と居場所支援の両面から継続的な支援を行っていきたい。

5. 学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリーにて「S」が付されている団体）